

ハンディキャップセミナー・障がいをもつ人のためのスキー教室 活動報告

2010年9月
ハンディキャップ委員会

これまでのハンディキャップ委員会の活動の中で、どのような支援が必要なのか、その正しい支援方法を学んでいくことが必要と考え「ハンディキャップセミナー（Ⅰ障がい者のサポート /Ⅱ雪上でのサポート,指導実践）」に取り組んでまいりました。毎回 NPO 法人日本プレジャーサポート協会理事長の馬場賢親氏を講師にお迎えし、より相手の立場に立っての支援へと理解を深めました。また雪上の実践として「障がいをもつ人のためのスキー教室」（1月白馬五竜、3月車山高原）を開催させて頂きました。参加者の皆様からは「参加して良かった」との喜びの声を頂きました。また鹿沢チャレンジカップへのサポートにも参加させて頂きました。これからも、よりよい活動となるよう前進して行きたいと思えます。

◎ハンディキャップセミナー

Ⅰ.障がい者のサポートについて：2009年11月8日（日）神奈川県立三ツ沢スポーツ会館

Ⅱ.雪上でのサポート・指導実践：2010年1月22日（金）白馬五竜スキー場

PSA 理事長の馬場賢親氏を講師にお迎えし、セミナーⅠでは、障がいの理解（座学）に加え、車椅子の介助・疑似体験を中心に学び、セミナーⅡでは、雪上でのサポートの基本と疑似体験（チェアスキーやバイスキー）を、実践的に取り組みました。



◎ 障がいをもつ方のスキー教室

・第15回.2010年1月23日(土)～24日(日)：白馬五竜スキー場

・第16回.2010年3月26日(金)～28日(日)：車山高原スキー場

白馬五竜でのスキー教室は、24名の参加者(付添いを含む)と、ボランティアを含め総勢45名、車山高原では、現地集合と宿泊を伴うバスツアーを含め参加者61名、ボランティアを含め総勢107名になりました。車山行事では今年も「みんな1つ屋根の下に！」と、大会本部のあるスカイパークホテルを宿泊場所としました。開会式では、研修会・クリニック参加者やボランティア、スキー場関係者の方々のご協力を頂いて、車椅子の方々も2階に移動することができました。これはこの活動が、さまざまな方々の力添えがあってこそ、はじめてなすことができる事なのだということ、あらためて深く感じた象徴的な瞬間でした。この場をおかりし深く感謝申し上げます。